

子どもから心のメッセージ

はーとめーる引渡式

館林地区三交連絡協議会(館林市・板倉町・明和町・館林警察署・館林交通安全協会)では9月16日、郷谷公民館で「はーとめーる引渡式」を行いました。

これは、小学生5、664人が75歳以上の高齢者9、209人宛てに、交通安全を呼びかけるメッセージを八ガキに書き、郵便局が敬老の日に合わせて、直接手渡して配達することで事故防止につながることを目的に行われるものです。



たばこはきちんと灰皿へ

もくもくクリーン運動



館林邑楽たばこ販売増進対策協議会と館林たばこ販売協同組合明和支部では9月12日、同会会員ら25人が、たばこの吸い殻などの清掃活動をする「もくもくクリーン運動」を行いました。

たすきを肩にかけた会員らは、ビニール袋を持って、ふるさとの広場周辺に投げ捨てられた、たばこの吸い殻や空き缶、紙くずなどを収集。参加者は「マナーの向上で、以前よりごみが少ないように感じます」と話していました。

無事故を祈り事故なし(梨)

交通安全街頭指導

秋の全国交通安全運動実施中の9月22日、町交通対策協議会と環境保健委員の皆さんが、田島市内の県道で、明和町の特産物の「梨」と交通事故「ナシ」をかけて200個の梨をドライバーの皆さんに配り、交通事故防止や空き缶などのポイ捨て防止を呼びかけました。

街頭指導者は「交通事故防止の思いを込めて梨を渡しました。ゆとりを持って運転して欲しいですね」と話していました。



笑顔で生きよう

町民文化大学教養講座



町民文化大学教養講座が9月24日、ふるさと産業文化館で開かれ、フリーアナウンサーの大沢悠里さんが「明るく元気にイキイキと」と題して講演しました。

講演の中で大沢さんは「一日一日を大切にし、笑顔で生きてください。私は、背が低くても、モテなくても、マイクの前に立ちたい。それが幸せだからです。周りの人々等に対する『ありがとう』の気持ちを忘れずに」と、前向きな気持ちを語ってくれました。